

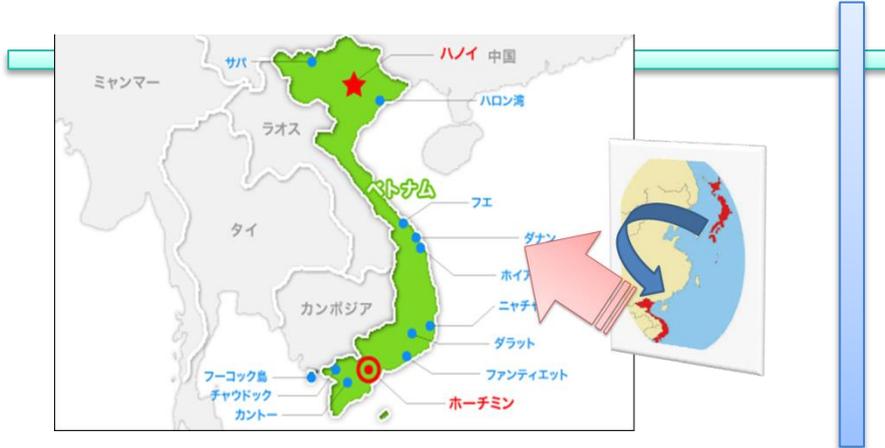


ベトナム 学会訪問記

2013/11/12
~11/18

訪問地 ベトナム<ホーチミン>

日常



飛行機で 6 時間！ベトナムの最大都市ホーチミンにて学会+旅行に行って参りました。



基本的な交通手段は「バイク」。その圧倒的な交通量は驚愕のものでした。横断歩道もバイク・車は止まってくれないので、自分でタイミングを



サイゴン大聖堂

サイゴン中央郵便局

日本との時差は 2 時間！

観光として有名なのが大聖堂や中央郵便局。

歴史的な背景のせいか、アジアとは思えないヨーロッパ風の建築物を見ることができました。

下の写真はベトナムで有名な食べ物とビールです。

ベトナムの風景

はかりバイクが避ける隙間を歩いて渡ります。



バインセオ

バインミー

フォー

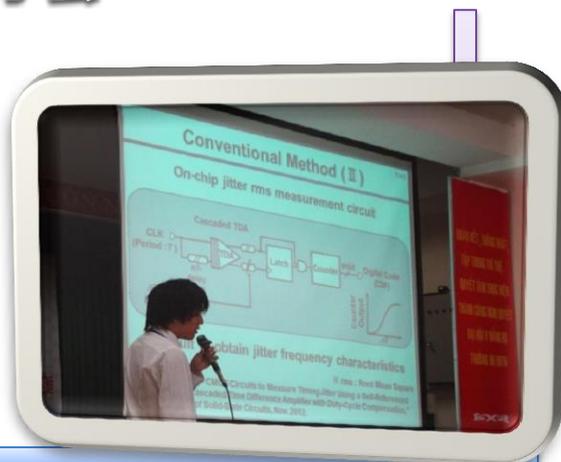


ホテル（16F）からの風景です。

Conference-学会-

現地時間で 16 日の 11 時からオールでの発表をしました。

英語で会話ができるようになりたいと切実に思った時間でした。



スケジュール

11月12日

日本出発

ベトナム到着

13日

ルネサスベトナム支社 訪問

タン・トゥアン社 訪問

ホーチミン工科大学 訪問

14日

ホーチミン技術師範大学 訪問

日本電産 訪問

15日

ICDV2013 (学会) 1日目

16日

ICDV2013 (学会) 2日目

17日

ホーチミン市内 観光

ベトナム出発

18日

日本帰国

企業・工場見学

見ようと思ってもみられない海外の工場や日本の海外支社を見学をさせていただきました。

日本の企業も国外の工場・支社を持つのが当たり前の時代ですが、日本でその事実を間近で味わうことはできません。

今後の自分が社会人になる上で非常に参考になる体験ができたと思います。



大学訪問

ホーチミン工科大学、ホーチミン技術師範大学を訪問させていただきました。

群馬大学のように研究をして、学会に論文を提出するということを行っていました。

我々が見学したのが一部であったからかもしれませんが、理論研究というより群馬大学での工学実験のような実践を中心とした内容を学生が学んでいるように思えました。



Impression -感想-

今回の学会のように、学問的に海外に出たことは初めてでしたので大変貴重な経験ができたこととありがたく思います。現在の産業は国内だけで考えることはなく、グローバルに考えなくてはならない時代です。その現場を自分の五感で体験できたことは自分が働く上でプラスになるだろうと思います。

学会発表では、終始、小林先生に助けていただきましたがその助け無く自分自身でできるように努めていきたいと再認識しました。

ベトナムを実際に見てベトナムについても知れましたし、観光もでき楽しかったです。

- Author -

学籍番号 13801416

修士 1年

小林研究室 大澤優介